



令和7年度「宇部市地域連携教育担当者研修会」から

10月7日、ときわ湖水ホールにおいて115名の参加者を得て標記の研修会を開催しました。当日は、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進を目的に、学校と社会教育推進委員会の計4団体に発表していただき、参加者はそのうち2つを選んで聴講しました。

二俣瀬小学校

「ちょボラ」 de 学び直しタイム



「ちょボラ」による丸付けと励ましのことば。家族や教員でない人にも丸をもらって意欲向上。

船木地区社教推

安心安全認知症サポーター訓練



困っている方を見かけたら上手に声かけできる安心・安全の担い手育成もやまぐちPRIDE。

厚南中学校

「きれいにしちゃい隊」始動



ボランティアから始まった地域清掃。その充実をテーマに熟議をし、地域との強固なつながりを模索。

恩田地区社教推

学校で遊ぼう！大盛況！！



昼休みに、学校サポーターのおひさまクラブと愛育会(PTA)による、球技や長縄、昔の遊び。

事後アンケートでは、発表に対する肯定的評価は93%、また協議・情報交換、理解増進に対しても92.5%と高評価をいただきました。

感想では、「5年先、10年先を見越した未来志向の体制構築を多様な立場と多くの関係者で意見交換しながら進めていきたい」「どの地区も高齢者と若い人(子ども)とのつながりや伝統を継承していくことが大切と感じていた」「社教推の立場を明確にして、子どもと地域をつなぐ活動を考案していきたい」「子どもが課題意識をもち、解決策を考えて、実行に移すプロセスの重要性を再確認すること



ができた」とあり、各々の立場から子どもたちの学びや育ちを支えていこうとする熱い思いが共有されました。

今後の研修会への要望として、ブース設営等の会場面の改善を含め、各校の実態に応じた取組の事例紹介、行政やふれあいセンターの関わり方、高校生の取組事例紹介等のご提案をいただきました。来年度の研修会の参考にさせていただきます。